

HAJIME ASSET MANAGEMENT

2026年4月30日

HAJIME アセットマネジメント株式会社

「賃貸戸建てを対象とした私募ファンドへの組成参画」について

HAJIME アセットマネジメント株式会社（東京都豊島区、代表取締役社長：中原 英明、以下「HAJIME アセットマネジメント」）は2026年4月30日付けで同社の親会社である一建設株式会社（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：堀口 忠美、以下「一建設」）が保有する賃貸戸建てを対象とした私募ファンドの組成に参画し会社設立後初となるサブアセットマネジメント業務を受託、サブAMとしての運用業務を開始いたしました。

本ファンドは一建設にて施工した分譲戸建てを賃貸事業に転用し運用中であったものを不動産信託受益権化し投資対象としております。対象物件は全てが一都三県に位置する戸建て住宅であり高度にリスク分散が図られていること、また木造であることから環境負荷の低減等にも貢献できることが特徴となっています。

<私募ファンドの概要>

合同会社名	合同会社 Casa
運用資産規模	約18億円
アセットマネジャー	住商リアルティ・マネジメント株式会社
サブアセットマネジャー	HAJIME アセットマネジメント株式会社
運用期間	5年

HAJIME アセットマネジメントは一建設をはじめとする飯田グループ各社が保有する賃貸不動産の流動化に向け、今後も積極的にファンド組成に向けた活動を実施してまいります。また将来的には私募リートの実用開始を目指し、必要な許認可の取得等の具体的な準備を進めてまいります。

以上